

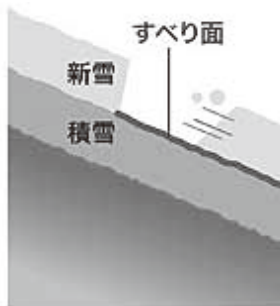


## 防災カフエ ☕ なだれに注意しましょう。

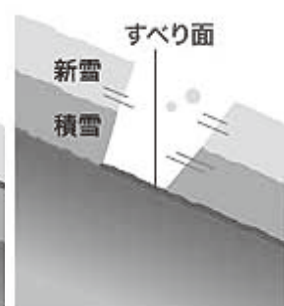
冬の北海道では、スキーや雪山登山などのウィンタースポーツを楽しむかたも多いでしょう。しかし、雪山ではなだれへの注意が必要です。

なだれは斜面に積もった雪が滑り落ちる現象で、発生条件により2種類に分けられます。「表層なだれ」は、古い積雪の上に新たに降り積もった雪が滑り落ちる現象で、新雪の多く降る真冬に発生しやすく、大雪が降った時には注意が必要です。一方、「全層なだれ」は、気温の上昇や雨により融けた水で地表面が滑りやすくなり、すべての積雪が滑り落ちる現象です。寒さが和らぐ春先に発生しやすくなります。

### ▼表層なだれ



### ▼全層なだれ



どちらも木々をなぎ倒し、建物を破壊してしまうほどの力を持っています。また、表層なだれの速さは新幹線と同じくらい、全層なだれの速さは自動車と同じくらいであるため、目の前でなだれが発生すると、あっという間に巻き込まれてしまいます。

札幌管区気象台では、「24時間に30cm以上の降雪」、あるいは「50cm以上の積雪で、日平均気温5℃以上」と予想したときに、なだれ注意報を発表します。

雪山に入る際には、気象台が発表する情報を確認の上、なだれ発生危険を想定した行動をとりましょう。また、地元の関係機関が設けた安全に雪山を楽しむためのルールに従い、滑走禁止エリアや危険地帯には絶対に立ち入らないようにしましょう。

※政府公報オンライン「最大で時速200kmものスピードに！雪崩(なだれ)から身を守るために」  
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201311/4.html>より

●詳細 札幌管区気象台天気相談所 ☎011-611-0170

## 冬道での交通事故の防止

### ストップ・ザ・交通事故 ～めざせ 安全で安心な北海道～

#### ①余裕を持った運転を

冬道は天候状況や積雪による渋滞が発生するなど到着するまでに時間がかかります。目的地までの天気や道路状況を事前に把握して、時間に余裕を持って出発しましょう。

#### ②スピードダウンと慎重な運転を

冬道では、スリップによる正面衝突の死亡事故が多発しています。スピードダウンと路面状況に合わせた慎重な運転を心がけましょう。

#### ③「急」のつく運転操作は危険

急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキといっ

た「急」のつく運転操作はスリップにつながり大変危険ですのでやめましょう。

#### ④交差点に注意

雪山で見通しが悪い交差点などでは、「車が来ているかもしれない」、「歩行者が横断しているかもしれない」と危険を予測して、徐行と安全確認を徹底しましょう。

#### ⑤悪天候に注意

吹雪や大雪など悪天候時の運転は、吹きだまりや視界不良による立ち往生等の危険が伴いますので、不要な外出は控えましょう。

やむを得ず車で外出するときは、事前に道路情報を確認するとともに、防寒具やスコップ等を準備しましょう。

●詳細 芦別警察署 ☎22-0110